

当財団は、今後ますます観光に関する学術的資料を収集し、その公開に力を入れたいと考え、国際的な学術誌や国内外の観光関連学会誌等の収集計画と、収集した観光研究情報の分析や情報発信に取り組んでいきます。その一環として本欄では、海外の研究動向や学会活動、あるいは観光研究が盛んな国内外の大学の動向に関する情報の紹介をしていきます。

観光研究レビュー

ツーリズム分野における 国際学術誌の現状①

公益財団法人日本交通公社 観光研究情報室・旅の図書館 主任研究員

渡邊 智彦

研究者が自身の研究成果を発表

する場にはさまざまなものがあるが、なかでも最も基本的かつ重要な場は学術誌 (Academic journal) と言ってしまうであろう。Cheng et al. (2011)、Hall (2011) および Weiner (2001) は、学術誌には主に三つの基本的機能があり、

- ① 学術知識を生産・普及・交換すること
- ② 研究費の配分にあたり、研究・学問の業績を評価する指標になること

③ 研究者の役職・昇進に関する

決定を知らせる役割を持つこと (すなわち、それに相応する個人・部署・組織の資格や地位を証明すること) である、と指摘している。また、Graburn & Jafari (1991) と Mc Kercher (2005) は、学術誌の活動内容と業績がその学問分野や学術コミュニティの成長を反映していると指摘しており、経済学や医学をはじめとするさまざまな学問分野においては、学術誌の適切な業績評価の重

要性が強調されている。

ツーリズム (本稿は国際学術誌をテーマとして扱うため「観光」ではなく「ツーリズム」の語を用いる) の分野でも学術誌の発展 (development) には大きな関心が寄せられており、『Tourism Management』をはじめとする学術誌では、学術誌の内容や評価などに関する議論が活発である (Jogaratnam, Chon, et al., 2005; Hall, 2011; McKercher, 2005; Page, 2003; Ryan, 2005; Jamal, Smith, &

Watson, 2008 など)。

この背景には、ツーリズム分野における学術誌のタイトル数の増加、ツーリズムを研究対象として扱う研究者の増加、ツーリズムの重要性に対する国際的な認知度の向上、学問領域としてのツーリズム研究の地位向上に対する研究者の意識の高まり、などがあると考えられる。

一方、日本においては、観光研究の国際標準化が大きな課題の一つになっていると筆者は考えている。海外の研究動向の把握、海外の研究成果の活用・応用、日本の研究成果の海外発信などを促進することは、日本の観光研究を発展させる上で大きな意味を持つ。ツーリズム分野の国際学術誌に日本人研究者の論文投稿が増加することは、国内外の研究者が互いの知識や経験を広く共有することを意味しており、その結果として、国際的な研究コミュニティにおいて日本人研究者の存在感が高まることが期待できるだろう。

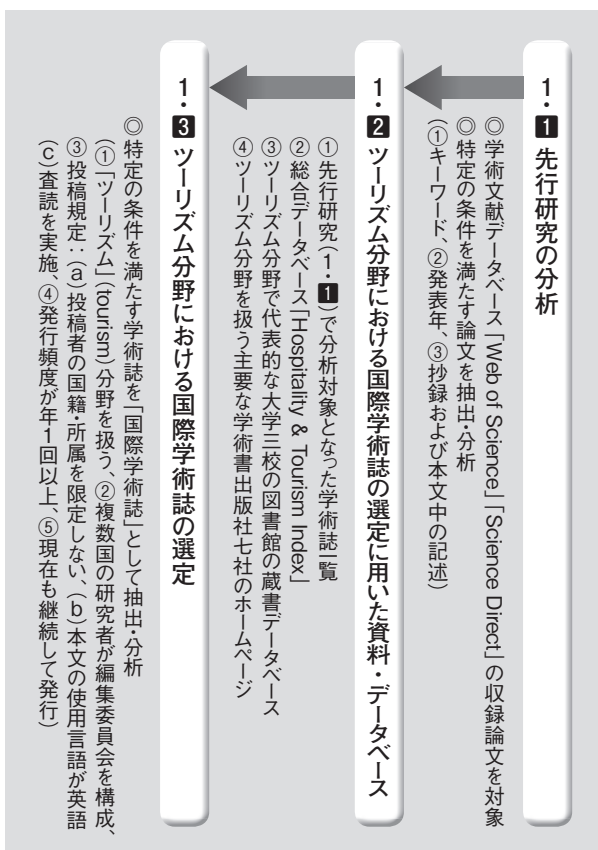
以上のような問題意識を背景とし

て、本稿では、ツーリズム分野の国際学術誌を概観することを目的に、国際学術誌の選定と分析（学術誌数、発行者、編集体制など）を行った。

1. 本稿における「国際学術誌」の選定条件・手順

本稿では、以下の条件と手順に基づき（図1）、分析対象とする「ツーリズム分野における国際学術誌の

図1 本稿における「国際学術誌」の選定条件・手順



一覧」（48～55ページ別表）を選定した。

なお、本稿では、先行研究である Cheng et al. (2011) などの研究で用いられた方法論を参考に、筆者が設定した条件と手順に基づき、選定と分析を行った。

1. 1 先行研究の分析（図2）

学術文献データベース「Web of Science」(Thomson Reuters)および「Science Direct」(Elsevier)に収録

されている論文 (Article) を対象に、以下の条件をすべて満たす論文を抽出し、各論文の分析を行った（二〇一四年一月現在）。

- ① キーワード：「tourism」かつ「journal」(and検索)
- ② 発表年：二〇〇〇年一月～二〇一四年一月（最新状況を把握するため、二〇〇〇年以降を対象とした）
- ③ 抄録 (abstract) および本文 (main text) 中の記述：「ツーリズム分野の学術誌の全体像」が概観、分析されている

1. 2 ツーリズム分野における国際学術誌の選定に用いた資料・データベース

ツーリズム分野における国際学術誌の選定にあたり、以下の資料・データベースを利用した（二〇一四年一月現在）。

- ① 先行研究で分析対象となった学術誌一覧（図2）
- ▼ 同学術誌一覧で対象となった百二十五誌（延べ数）を選定対象とした。

図2 「ツーリズム分野の学術誌の全体像」が概観、分析されている論文リスト（2000年以降）（著者名アルファベット順）

No.	著者名	発行年	論文名	学術誌名	巻号	頁	URL
1	Cheng, C., Li, X., Petrick, J.F., & O'Leary, J.T.	2011	An examination of tourism journal development	Tourism Management	32 (1)	53-61	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S026151770900209X
2	Hall, C.M.	2011	Publish and perish? Bibliometric analysis, journal ranking and the assessment of research quality in tourism	Tourism Management	32 (1)	16-27	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517710001469
3	Jamala, T., Smith, B., & Watson, E.	2008	Ranking, rating and scoring of tourism journals: Interdisciplinary challenges and innovations	Tourism Management	29 (1)	66-78	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517707000982
4	Kim, Y., Savage, K.S., Howey, R.M., & Hoof, H.B.V.	2009	Academic foundations for hospitality and tourism research: A reexamination of citations	Tourism Management	30 (5)	752-758	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517708001878
5	McKercher, B.	2012	Influence ratio: An alternate means to assess the relative influence of hospitality and tourism journals on research	International Journal of Hospitality Management	31 (3)	962-971	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0278431911001800
6	McKercher, B., Law, R., & Lam, T.	2006	Rating tourism and hospitality journals	Tourism Management	27 (6)	1235-1252	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517705000841
7	McKercher, B.	2005	A case for ranking tourism journals	Tourism Management	26 (5)	649-651	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S026151770400113X
8	Page, S.	2003	Evaluating research performance in tourism: the UK experience	Tourism Management	24 (6)	607-622	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0261517703000438
9	Pechlaner, H., Zehrer, A., Matzler, K., & Abfalter, D.	2004	A ranking of international tourism and hospitality journals	Journal of Travel Research	42 (4)	328-332	http://jtr.sagepub.com/content/42/4/328.short
10	Svensson, G., Svaeri, S., & Einarsen, K.	2009	'Empirical characteristics' of scholarly journals in hospitality and tourism research: An assessment	International Journal of Hospitality Management	28 (3)	479-483	http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0278431909000097

出典：[Web of Science] (Thomson Reuters) および [Science Direct] (Elsevier) から筆者作成（2014年1月現在）
注）上記URLにおける本文の閲覧は有料（ただし、抄録、キーワードは無料で閲覧可能）

② ツーリズムおよびホスピタリティ分野における学術研究と業界ニーズを扱う総合データベース「Hospitality & Tourism Index」(EBSCO. 2013)

▼ 同データベースは、(a) Cornell University (米国) が作成した「Hospitality database」(a) University of Surrey (英国) と Oxford Brookes University (英国) が共同で作成した「Articles in Hospitality and Tourism」(AHT)。(c) Purdue University (米国) が作成した「Lodging, Restaurant & Tourism Index」(LRTI) の三つのデータベースが統合されたものである。現在は、情報提供サービスを行う EBSCO 社が同データベースの更新・提供を行っている。

▼ 先行研究 (Cheng et al., 2011 など) では、分析対象となる学術誌の選定にあたり、同データベースを利用している。同データベースから、資料種別 (Source Type) が「Academic

Journal」に該当するもの百八十誌を選定対象とした。

③ University of Central Florida (米国) / University of Surrey (英国) / University of Queensland (オーストラリア) の各図書館の蔵書データベース

▼ 米国、ヨーロッパ、オーストラリアから、ツーリズム分野で代表的な大学各一校を対象とした。各図書館のオンライン蔵書目録の目録検索画面 (Catalogue Search) から、資料種別 (Format) が「Journal」、キーワードが「tourism」に合致する学術誌を検索した。

▼ University of Central Florida 図書館から百八十七誌、University of Surrey 図書館から二百二十四誌、University of Queensland 図書館から三百七十四誌が該当し、それぞれを選定対象とした。

④ ツーリズム分野を扱う主要な学術書出版社七社 (Cognizant Communication, Elsevier Science, Emerald Group Publishing, Index-

science Publishers, John Wiley & Sons, Sage Publications, Taylor & Francis) のホームページ

▼ 各学術書出版社のホームページのサイト内検索を用いて、キーワード「tourism」に合致する学術誌を検索した。

▼ Cognizant Communication から八件、Elsevier Science から五十件、Emerald Group Publishing から六件、Indexscience Publishers から五件、John Wiley & Sons から二件、Sage Publications から十一件、Taylor & Francis から二十六件が該当し、それぞれを選定対象とした。

1・3 ツーリズム分野における

国際学術誌の選定

上記 1・2 の資料・データベース ①～④ で取り上げた学術誌を対象に、以下の条件をすべて満たす学術誌を選定した。条件の確認にあたっては、各学術誌のホームページに掲載されている情報をそれぞれ確認した (二〇一四年一月現在)。

① 「ツーリズム」(tourism) 分野

を扱う学術誌である。選定にあたり、以下の条件に合致する学術誌を「ツーリズム分野の学術誌」とみなした。

- 「Tourism」と明記されている学術誌は対象とした。
- 「Tourism」と明記されていない学術誌は、(b) の条件を確認した。
- (b) 学術誌の目的 (Aims) および範囲 (Scope) の確認(その1) 「Tourism」と明記されている学術誌は、(c) の条件を確認した。
- 「Tourism」と明記されていない学術誌は対象外とした。
- 当該条件に基づき、ホスピタリティ分野で著名な学術誌 (「Hospitality Management」など) やイベント分野の学術誌 (「International Journal of Event and Festival Management」など) は本稿では対象外となる。「hospitality」「event」という言葉を条件に加えると、飲食やサービスを扱う学術誌も多数

含まれることになる。ホスピタリティおよびイベント分野を含めた選定条件（ホテル等の宿泊施設を主テーマとする学術誌は含めるなど）については、今後の研究課題とした。

- (c) 学術誌の目的 (Aims) および範囲 (Scope) の確認(そのこと)
- 学術誌の主テーマがツーリズム分野であると判断できる(目的と範囲の説明から読み取れる) 学術誌は対象とした『Event Management』『International Gambling Studies』など。

- 学術誌の主テーマがツーリズム分野であると判断できない(目的と範囲の説明から読み取れない) 学術誌は対象外とした『Climate Change』『Computers in Human Behavior』など。
- 当該条件は筆者の判断に基づくものである。学術誌の主テーマの選定条件(収録される論文タイトルに「tourism」が含まれる論文数や割合など)については、今後の研究課題とした。

② 編集委員会 (Editorial Board) が複数国の研究者によって構成される(編集委員の国籍がすべて同一の場合は除外する)。

③ 投稿規定 (Guide for Authors / Instructions for Authors など) が以下のすべての要件を満たす。

- (a) 論文投稿者の国籍・所属を限定していない(広く世界各国から投稿を受け付けている)
- (b) 本文 (main text) の使用言語 (language) が英語である。英語以外の言語(フランス語、スペイン語等)のみを使用した論文が認められている場合は除外する。また、投稿規定に「英語」と明示されていない場合、投稿規定およびバックナンバー論文の記述がすべて英語であれば、使用言語を英語とみなす。
- (c) 査読 (Peer Review) を実施する

④ 発行頻度 (Publication Frequency) は年一回以上である。発行頻度が明記されている学術誌と、明記されていない学術誌が存在する。後者は、ホームページに掲載

されるバックナンバーから確認した。

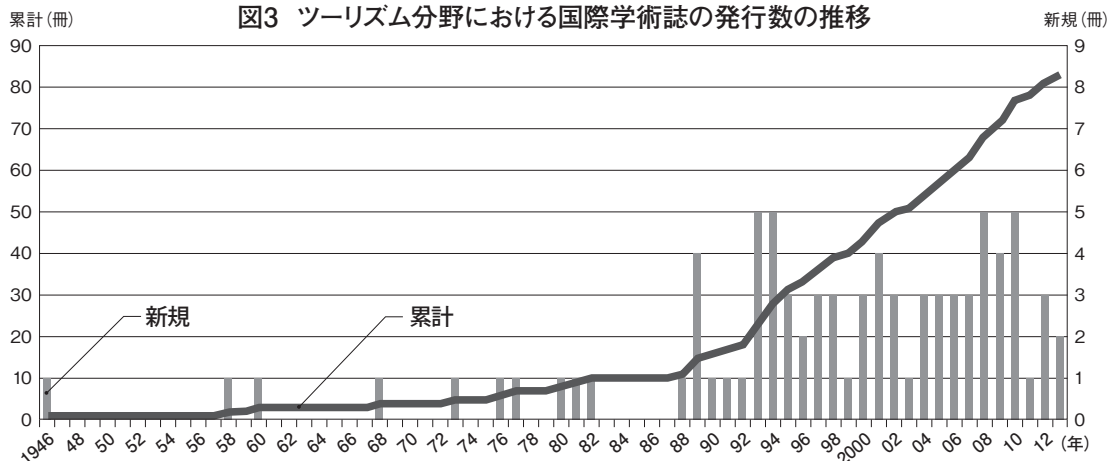
⑤ 現在も継続して発行されている(廃刊誌は除外する)。

2. ツーリズム分野における国際学術誌の概要

2.1 学術誌数の推移 (図3)

現在まで継続して刊行されている最も古い国際学術誌は『Tourism Review』(1946) である。『IRA Bulletin』(1958、現在の World Leisure Journal)、『Cornell Hospitality Quarterly』(1960)、『Journal of Travel Research』(1968) が続き、一九七〇年以降は徐々に学術誌が増加していった。一九九〇年代に入ってから新規の国際学術誌の発行が急速に増加しており、一九九〇年から二〇一三年まで毎年平均二・八三冊が新たに発行された。過去二十間で学術誌数は約三倍に増加しており、二〇一四年一月現在、ツーリズム分野における国際学術誌は八十三誌に及ぶ。

図3 ツーリズム分野における国際学術誌の発行数の推移



注1) 廃刊誌は含まない 注2) 名称が変更された学術誌は、最初の発行年を適用した。筆者作成

図5 ツーリズム分野における
国際学術誌の発行地(地理的分布)

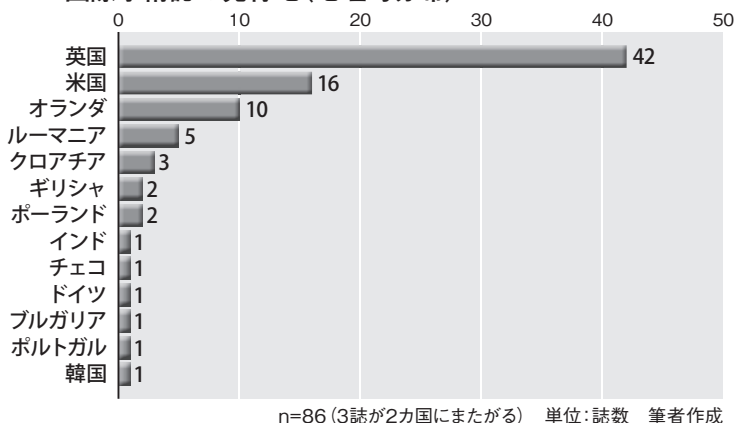
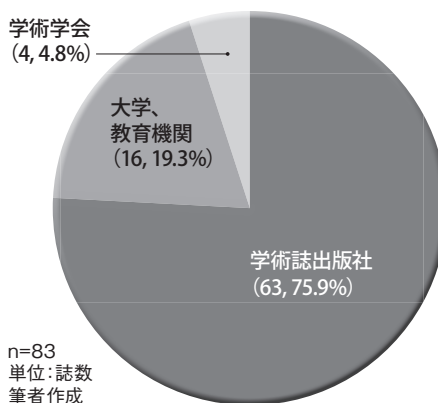


図4 ツーリズム分野における
国際学術誌の発行者(種別)



2・2 発行者、発行地(図4、5)

発行者の内訳は、「学術誌出版社」(六十三誌、七五・九%)、「大学、教育機関」(十六誌、一九・三%)、「学術学会」(四誌、四・八%)であった。また、学術誌出版社の内訳は、「Taylor & Francis」(英国、三十一誌、四九・二%) (学術誌出版社内で占める割合。以下同)、「Elsevier Science」(オランダ、九誌、一四・三%)、「Sage Publications」(米国、六誌、九・五%)、「Cognizant Communication」(英国、五誌、七・九%)、「Emerald Group Publishing」(英国、四誌、六・二%)、「Inderscience Publishers」(英国、三誌、四・八%)、「John Wiley & Sons」(英国、二誌、三・二%)、「JP Publishing」(英国、一誌、一・六%)、「Berghahn Books」(米国、一誌、一・六%)、「Springer」(ドイツ、一誌、一・六%)であった。発行者の多数を学術誌出版社が占めることは、ツーリズム分野に限定された話ではなく、世界の学術誌全体に見られる傾向である。

日本学術会議(2010, P2)は「二〇世紀の半ば以降、海外の大手商業出版社は、学術誌の市場を大きなビジ

ネスチャンスと捉え、学術誌の出版権を次々に入手するとともに、市場の独占を進めていった。学術誌の電子媒体化の加速的進行により学術誌商業出版社は巨大なプラットフォームを構築し、多くの学術誌を同時且つ瞬時に処理できるようになり、出版権の拡大をより容易にした」と指摘している。ツーリズム分野においても、大手商業出版社の存在が国際学術誌の増加を加速させている部分があると推測できる。

また、発行地の内訳は、本稿が国際学術誌の条件を「使用言語を英語とする」としたこともあり、英語を公用語とする国(英国四八・八%、米国一八・六%、インド一・二%)が約七割を占めた。

2・3 編集体制、編集長(もしくはそれに準ずる者)の国籍(図6、7)

各学術誌ホームページ上の「編集委員会」(Editorial Board)に明示されている情報をもとに編集体制の種別を整理すると、「研究者グループ」(特定の学会や大学等の組織を

構成せず、学術誌の編集を目的に集まるグループ。四十六誌、五五・四%)、「大学、大学協議会、大学コンソーシアム」(十七誌、二〇・五%)、「学術学会」(十四誌、一六・九%)、「国際協会、国際協議会、国際委員会、国際機関」(五誌、六・〇%)、「教育機関」(二誌、二・二%)であった。

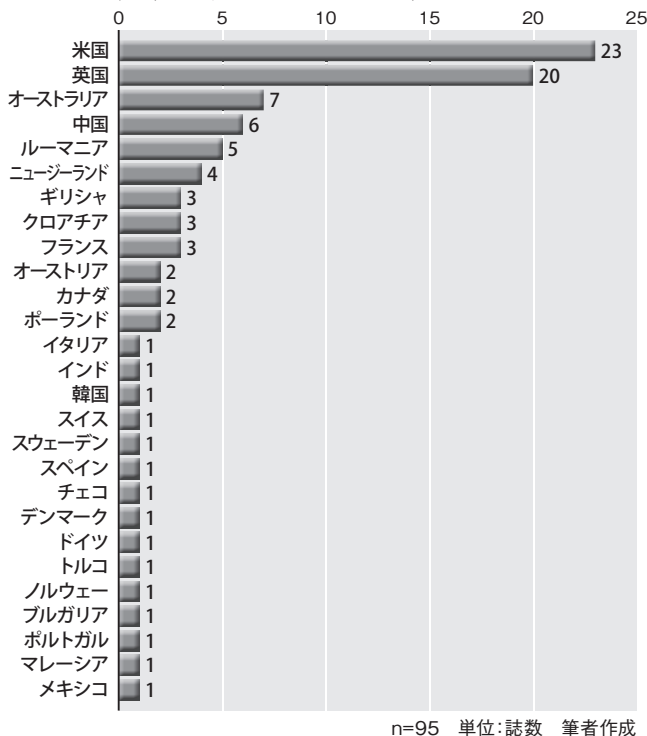
編集委員会のメンバーは、編集体制の種別にかかわらず、ほとんどが大学教員によって構成される。

編集委員会の役割は、編集長(Editor-in-Chief)・創刊者兼編集者(Founding Editor)・副編集長(Associate Editor-in-Chief)・編集実務委員(Editor)・編集幹事(Managing Editor)・編集顧問会議(Editorial Advisory Board)・編集委員(Editorial Board Member)・Associate Editors)などが構成される(和文の表記は山谷(2013)が用いている表記を参考に筆者翻訳)。

編集委員会の構成は学術誌によりさまざまである。

例えば『Annals of Tourism Research』では、編集長が一人、創刊者兼編集者が一人、副編集委員(As-

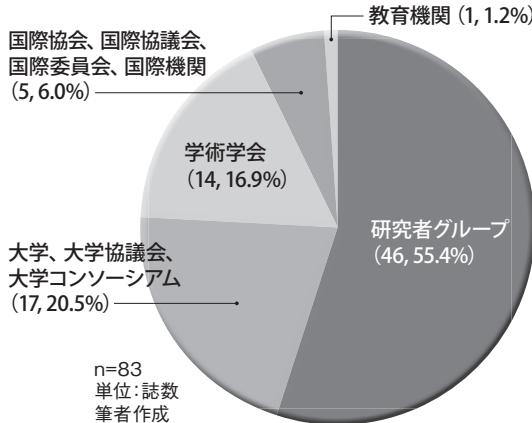
図7 ツーリズム分野における国際学術誌の編集長(もしくはそれに準ずる者)の国籍



n=95 単位:誌数 筆者作成

- 注1) 編集長が存在しない場合は、それに準ずる者を対象とした。
 注2) 1つの学術誌に複数の編集長が存在する場合、以下のようにカウントした。
 ①同一の学術誌中に、異なる国籍の編集長が複数いる場合→すべての国籍数をカウントした。
 ②同一の学術誌中に、同じ国籍の編集長が複数いる場合→1カ国としてカウントした。

図6 ツーリズム分野における国際学術誌の編集体制



associate Editor) が三人、専門分野別の編集委員が十二人(人類学、地理学、歴史学、心理学、社会学など)、コメンタリー担当編集委員(Commentary Editor) が一人、レポート編集委員(Report Editor) が一人、リサーチ・ノート編集委員(Research Notes Editor) が一人、出版編集委員(Publication Editor) が一人、索引編集委員(Index Editor) が一人、リソース編集委員(Resource Editor) が八十八人で構成される。

[参考文献]

- Cheng, C. Li, X., Petrick, J.F. & O'Leary, J.T. (2011). An examination of tourism journal development. *Tourism Management*, 32 (1), 53-61.
- EBSCO. (2013). *Hospitality & tourism index*, November/December 2013. Available from <http://www.ebscohost.com/academic/hospitality-tourism-index>
- Graburn, N.H.H., & Jafari, J. (1991). Introduction: tourism social science. *Annals of Tourism Research*, 18 (1), 1-11.
- Hall, C.M. (2011). Publish and perish? Bibliometric analysis, journal ranking and the assessment of research quality in tourism. *Tourism Management*, 32 (1), 16-27.
- Jamala, T., Smith, B., & Watson, E. (2008). Ranking, rating and scoring of tourism journals: Interdisciplinary challenges and innovations. *Tourism Management*, 29 (1), 66-78.
- Jogaratnam, G., Chon, K., McCleary, K., Mena, M., & Yoo, J. (2005). An analysis of institutional contributors to three major academic tourism journals: 1992-2001. *Tourism Management*, 26 (5), 641-648.
- Kim, Y., Savage, K.S., Howey, R.M., & Hoof, H.B.V. (2009). Academic foundations for hospitality and tourism research: A reexamination of citations. *Tourism Management*, 30 (5), 752-758.
- McKercher, B. (2012). Influence ratio: An alternate means to assess the relative influence of hospitality and tourism journals on research. *International Journal of Hospitality Management*, 31 (3), 962-971.
- McKercher, B., Law, R., & Lam, T. (2006). Rating tourism and hospitality journals. *Tourism Management*, 27 (6), 1235-1252.
- McKercher, B. (2005). A case for ranking tourism journals. *Tourism Management*, 26 (5), 649-651.
- Page, S. (2003). Evaluating research performance in tourism: the UK experience. *Tourism Management*, 24 (6), 607-622.
- Pechlaner, H., Zehrer, A., Matzler, K., & Abfalter, D. (2004). A ranking of international tourism and hospitality journals. *Journal of Travel Research*, 42 (4), 328-332.
- Ryan, C. (2005). The ranking and rating of academics and journals in tourism research. *Tourism Management*, 26 (5), 657-662.
- Svensson, G., Svaeri, S., & Einarsen, K. (2009). 'Empirical characteristics' of scholarly journals in hospitality and tourism research: An assessment. *International Journal of Hospitality Management*, 28 (3), 479-483.
- Weiner, G. (2001). The academic journal: has it a future? *Education Policy Analysis Archives*, 9 (9). Accessed from: <http://epaa.asu.edu/ojs/article/view-File/338/464>
- 日本学術会議 科学者委員会 学術誌問題検討分科会 (2010) 『提言 学術誌問題の解決に向けて—「包括的学術誌コンソーシアム」の創設』日本学術会議 Accessed from: <http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t101-1.pdf>
- 山谷知行 (2013) 『学会の役割を考える: 日本植物生理学会が誇る国際学術雑誌 Plant and Cell Physiologyの発行を通じて』、情報管理vol.56 no.1, Accessed from: https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/56/1/56_21_1.pdf

編集長(もしくはそれに準ずる者)の国籍を見ると、「米国」(二十三人、二四・二%)、「英国」(二十人、二二・二%)が多数を占め、「オーストラリア」(七人、七・四%)、「中国」(六人、六・三%)、「ルーマニア」(五人、五・三%)、「ニュージーランド」(四人、四・二%)、「ギリシャ」(三人、三・二%)、「クロアチア」(三人、三・二%)、「フランス」(三人、三・二%)がそれに次ぐ。

発行頻度は、一年間に「四回」が四三・四%(三十六誌)、「三回」が一三・三%(十一誌)、「二回」が一五・七%(十三誌)であり、全体の約四分の三を「二〜四回」が占める。

3. 今後の研究
 今回の論稿では、本稿にて触れなかった、国際学術誌の主テーマ、収録論文の傾向、学術誌の評価(Impact Factor等)などについてもさらに分析を進めていきたい。(わたなべ ともひこ)

発行地	発行者	発行期間	発行頻度(回/年)	資料/データベース	URL	No.
クロアチア	Department of Tourism Faculty of Economics & Business, University of Zagreb	1989～現在	2回	①②③	http://www.efzg.unizg.hr/default.aspx?id=6555	1
クロアチア	Utilus Business School	2007～現在	2回	②	http://www.utilus.hr/eng/lzdavastvo/lzdavastvo.html	2
英国	Taylor & Francis	1989～現在	3回	①②③④	http://www.informaworld.com/rana	3
英国	Taylor & Francis	1998～現在 (前身在1993～1997)	2003年～4回 (それ以前は1回)	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/ranz20/current	4
オランダ	Elsevier Science	1973～現在	1979年～4回 (それ以前は5回程度)	①②③④	http://www.journals.elsevier.com/annals-of-tourism-research/	5
英国	Taylor & Francis	1996～現在	8回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rapt20/current#UxvRS9wXou5	6
米国	Tuskegee University	2005～現在	2回	②③	http://hospitalityhbcu.org/consortiumjournal.html	7
米国	Sage Publications / Cornell University School of Hotel Administration	1960～現在	4回	①②③④	http://cqx.sagepub.com	8
英国	Taylor & Francis	1998～現在	10回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rcit20/current#UxvYvNwXou4	9
チェコ	Institute of Hospitality Management in Prague	2005～現在	2012年～3回 (それ以前は2回)	②	http://www.vsh.cz/en/the-ihm-journal-nav112/	10
ブルガリア	International University College	2008～現在	1回	①②③	http://ejtr.vumk.eu	11
ポルトガル	Polytechnic Institute of Leiria	2010～現在	3回	③	http://www.ejthr.com	12
米国	Cognizant Communication	2000～現在 (前身在1993～1998)	4回	①②③④	https://www.cognizantcommunication.com/journal-titles/event-management	13
ルーマニア/ ポーランド	University of Oradea / Gdansk University of Physical Education and Sport	2008～現在	2～3回	②③	http://gtg.webhost.uoradea.ro	14
ドイツ	Springer (2012年までCognizant Communication)	1998～現在	4回	①②③④	http://www.springer.com/business+%26+management/business+information+systems/journal/40558	15
英国	Taylor & Francis	2001～現在	3回	②③④	http://www.tandfonline.com/loi/rigs20#.UxyZitwXou4	16
ルーマニア	Amfiteatru Foundation	2012～現在	4回	③	http://amphitheatreconferences.gm.ro/publications/ijrt/about-ijrt/	17
英国	Emerald Group Publishing	1989～現在	2000年～7回 (それ以前は4～7回)	①②③④	http://www.emeraldgrouppublishing.com/products/journals/journals.htm?id=JCHM	18
英国	Emerald Group Publishing	2007～現在	4回	①③④	http://www.emeraldgrouppublishing.com/products/journals/journals.htm?id=ijcthr	19
英国	Taylor & Francis	1994～現在	8回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rjhs20/current#Uxyzd9wXou4	20
英国	Taylor & Francis	2000～現在 (前身在1997～1999)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wjht20/current#Uxy1xdwXou4	21
インド	Society for Social Welfare Academic Advancement and Research	2011～現在	2回	②	http://ijohat.sswaar.com	22

別表 ツーリズム分野における国際学術誌一覧 (2014年1月現在、学術誌名アルファベット順)

No.	学術誌名	取り扱う研究分野「Aims」「Scope」から一部抜粋	編集体制	編集長(もしくはそれに準ずる者)
1	Acta Turistica	ツーリズム現象に関する研究全般(経済学・地理学・社会学・マネジメント・マーケティング・起業・財務等、さまざまな視点)	大学 (University of Zagreb)	Nevenka Čavlek (Sveučilište u Zagrebu, クロアチア)
2	Acta Turistica Nova	ツーリズムおよびホテル産業における最新動向、マネジメント、計画に関する研究	大学 (Utilus Business School)	Boris Vukonić (Utilus Business School, クロアチア)
3	Anatolia: An International Journal Of Tourism And Hospitality Research	地中海地域における国際ツーリズム、ホスピタリティに関する研究	研究者グループ	Nazmi Kozak (Anadolu University, トルコ) Metin Kozak (Dokuz Eylul University, トルコ)
4	Annals of Leisure Research (前身: ANZALS Research Series)	レジャーに関する理論的・実践的な研究	学術学会 (Australian and New Zealand Association of Leisure Studies)	Neil Carr (University of Otago, 米国)
5	Annals of Tourism Research	ツーリズムの学術的観点に焦点を当てた研究(理論構築、学際研究)	研究者グループ	John Tribe (University of Surrey, 英国)
6	Asia Pacific Journal Of Tourism Research	アジア・太平洋地域におけるツーリズムに関する実証的・理論的研究	学術学会 (Asia Pacific Tourism Association)	Kaye Chon (The Hong Kong Polytechnic University, 中国)
7	Consortium Journal of Hospitality and Tourism	ホスピタリティ分野における教育・新規採用・人材の引き留めに関する研究	大学コンソーシアム(Historically and Predominantly Black Colleges and University/ Hospitality Management Consortium)	Faye Hall Jackson (Tuskegee University, 米国)
8	Cornell Hospitality Quarterly	ホスピタリティ・マネジメントに関する実践的研究(ホスピタリティ、ツーリズム、関連サービス)	大学 (Cornell University School of Hotel Administration)	Michael S. LaTour (Cornell University School of Hotel Administration, 米国)
9	Current Issues In Tourism	ツーリズムにおける重要な論点に関する批評的な研究	研究者グループ(設立時は編集長が以前所属したUniversity of Otagoが関与したと思われる)	C. Michael Hall (University of Canterbury, ニュージーランド) Chris Cooper (Oxford Brookes University Business School, 英国)
10	Czech Hospitality & Tourism Papers	ホテルおよびSPA産業、美食学、ツーリズムの理論・実践的側面の発展に関する研究	大学 (Institute of Hospitality Management in Prague)	Petr Čech (Institute of Hospitality Management in Prague, チェコ)
11	European Journal of Tourism Research	ツーリズムの理論的・実践的課題に関する研究	大学 (International University College)	Stanislav Ivanov (International University College, ブルガリア)
12	European Journal of Tourism, Hospitality and Recreation	ツーリズム、ホスピタリティ、レクリエーション、食事サービスに関する研究	大学 (Polytechnic Institute of Leiria)	Francisco Dias (Polytechnic Institute of Leiria, ポルトガル)
13	Event Management (前身: Festival Management & Event Tourism)	会議、大会、フェスティバル、博覧会、スポーツをはじめとするあらゆるイベントのマネジメントに関する研究	研究者グループ	Kenneth Backman (Clemson University, 米国)
14	GeoJournal of Tourism and Geosites	ジオサイトとツーリズムに関する研究	大学 (University of Oradea/Gdansk University of Physical Education and Sport)	Dorina Camelia ILIEȘ (University of Oradea, ルーマニア) Waldemar MOSKA (Academy of Physical Education and Sports of Gdańsk, ポーランド)
15	Information Technology & Tourism	ツーリズム、ホスピタリティ分野における情報技術の役割に関する研究	研究者グループ	Francesco Ricci (Free University of Bozen-Bolzano, イタリア)
16	International Gambling Studies	ギャンブルの理論、手法、実践、歴史に関する研究	研究者グループ	Alex Blaszczyński (University of Sydney, オーストラリア)
17	International Journal for Responsible Tourism	責任あるツーリズムに関する研究	教育機関 (Amfiteatru Foundation)	Vasile Cepoi (ルーマニア)
18	International Journal of Contemporary Hospitality Management	世界のホスピタリティおよびツーリズム・ビジネスにおける最新のマネジメントに関する研究	研究者グループ	Fevzi Okumus (The University of Central Florida, 米国)
19	International Journal of Culture, Tourism and Hospitality Research	文化、ツーリズム、ホスピタリティの関係性に関する研究	研究者グループ	Andreas H. Zins (MODUL University Vienna, オーストリア)
20	International Journal of Heritage Studies	文化遺産に関する研究	研究者グループ	Laurajane Smith (The Australian National University, オーストラリア)
21	International Journal of Hospitality & Tourism Administration (前身: Journal of International Hospitality, Leisure & Tourism Management)	ホスピタリティおよびツーリズムのマネジメントに関する研究	研究者グループ	Clayton W. Barrows, EdD (University of New Hampshire, 米国)
22	International Journal of Hospitality and Tourism	ホスピタリティおよびツーリズム分野に関する研究	学術学会 (Society for Social Welfare Academic Advancement and Research)	Sonia Gupta (Leeds Metropolitan University, India Campus, インド)

注: 「収録資料/データベース」の番号は、本文中の「1・2 国際学術誌の選定に用いた資料・データベース」と対応。

① 先行研究、② Hospitality & Tourism Index、③ 図書館の蔵書データベース、④ 学術書出版社

発行地	発行者	発行期間	発行頻度(回/年)	資料/データベース	URL	No.
英国	Inderscience Publishers	2009～現在	4回	④	http://www.inderscience.com/jhome.php?code=ijtm	23
ギリシャ	International Journal of Sport Management, Recreation & Tourism	2008～現在	4回	③	http://www.ijsmart.eu	24
英国	Inderscience Publishers	2010～現在	4回	④	http://www.inderscience.com/jhome.php?code=ijta	25
英国	Inderscience Publishers	2007～現在	4回	①③④	http://www.inderscience.com/jhome.php?code=ijtp	26
英国	John Wiley & Sons	1999～現在 (前身在1989～1994 →1995～1998)	1999年～6回 (それ以前は1回→ 4回)	①②③④	http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1002/(ISSN)1522-1970	27
韓国	Tourism Sciences Society of Korea	2000～現在	2009年～3回 (それ以前は1回)	①	http://ijts.tosok.or.kr	28
オランダ	Elsevier Science	1994～現在	2012年～7回もしくは8回 (それ以前は4回～6回)	②③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-air-transport-management/	29
英国	Taylor & Francis※2007まではThe Hong Kong Polytechnic University	2005～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wctr20/current#.Ux4cktWxou4	30
英国	Taylor & Francis	2004～現在 (前身在1997～2004)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wcet20/current#.Ux4csdwXou4	31
オランダ	Elsevier Science	2012～現在	4回	③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-destination-marketing-and-management/	32
英国	Taylor & Francis	2002～現在	3回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/reco20/current#.Ux4l4twXou4	33
ルーマニア	Research Center for Regional Analyses in Tourism, Environment and Sustainable Development's members, Faculty of Geography, Bucharest University	2013～現在	1回	③	http://jeta.rev.unibuc.ro	34
ルーマニア	Association for Sustainable Education, Research and Science	2010～現在	2回	③	http://www.asers.eu/journals/jemt.html	35
英国	Taylor & Francis	2006～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rjht20/current#.Ux6hB9wXou4	36
英国/米国	Taylor & Francis / International Council on Hotel, Restaurant, and Institutional Education	1997～現在 (前身在1988～1996)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/uhat20/current#.Ux6mnNwXou4	37
米国	Sage Publications / International Council on Hotel, Restaurant, and Institutional Education	1976～現在	4回	①②③④	http://jht.sagepub.com	38
オランダ	Elsevier Science	2002～現在 (前身在1994～2001)	1～2回	①②③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-hospitality-and-tourism-management/	39
英国	Emerald Group Publishing	2010～現在	3回	③④	http://www.emeraldgroupublishing.com/products/journals/journals.htm?id=jhtt	40
オランダ	Elsevier Science (2011年まではHospitality, Leisure, Sport & Tourism Network)	2002～現在	2回	①②③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-hospitality-leisure-sport-and-tourism-education-johlste/	41
英国	Taylor & Francis	2002～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/whrh20/current#.Ux9gcNwXou4	42
オランダ	Elsevier Science	2013～現在	2回	③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-outdoor-recreation-and-tourism/	43
英国	Taylor & Francis	2009～現在	3回	②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rprt20/current#.Ux9wrtwXou4	44

No.	学術誌名	取り扱う研究分野「Aims」「Scope」から一部抜粋	編集体制	編集長(もしくはそれに準ずる者)
23	International Journal of Leisure and Tourism Marketing	レジャー、レクリエーション、ツーリズム分野におけるマーケティングに関する研究	研究者グループ	Rajagopal (Monterrey Institute of Technology and Higher Education, メキシコ)
24	International Journal of Sport Management, Recreation & Tourism	スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、レクリエーション、スポーツ・ツーリズムに関する研究	大学 (Democritus University of Thrace)	Costa George (Democritus University of Thrace, ギリシャ)
25	International Journal of Tourism Anthropology	観光人類学に関する研究(民族学、社会学、心理学、考古学、アート、言語学、経済学、政治学、歴史学、哲学、地理学、生態学等の分野と相互に関連)	研究者グループ	Cheng, Li (Sichuan University, 中国)
26	International Journal of Tourism Policy	ツーリズム政策の課題、政策立案に関する研究	研究者グループ	George Agiomirgianakis (Hellenic Open University, ギリシャ) Konstantinos Andriotis (Middlesex University, 英国)
27	International Journal of Tourism Research (前身:Progress in Tourism & Hospitality Management → Progress in Tourism & Hospitality Research)	ツーリズムおよびホスピタリティ分野の研究開発に関する研究(新しい研究領域、技術、研究手法等)	研究者グループ (設立時は編集長が以前所属したUniversity of Surrey)	John Fletcher (Bournemouth University, 英国)
28	International Journal of Tourism Sciences	ツーリズム、レジャー、ホスピタリティ分野に関する研究	学術学会 (Tourism Sciences Society of Korea)	Chulwon Kim (Kyung Hee University, 韓国)
29	Journal of Air Transport Management	航空輸送産業における経済、マネジメント、政策に関する研究	研究者グループ	A. Graham (University of Westminster, 英国)
30	Journal Of China Tourism Research	中国および中国人のツーリズムに関する最新の研究	研究者グループ (設立時は編集長が所属するThe Hong Kong Polytechnic University)	Haiyan Song (The Hong Kong Polytechnic University, 中国)
31	Journal Of Convention & Event Tourism (前身:Journal of Convention & Exhibition Management)	会議、展示会・見本市、大会、イベントに関する研究	研究者グループ	George G. Fenich (East Carolina University, 米国)
32	Journal of Destination Marketing & Management	デスティネーション・マーケティングおよびデスティネーション・マネジメントに関する研究	研究者グループ	A. Fyall (University of Central Florida, 米国) B. Garrod (Aberystwyth University, 英国) Y. Wang (University of Central Florida, 米国)
33	Journal Of Ecotourism	エコツーリズムに関する研究	研究者グループ	David Fennell (Brock University, カナダ)
34	Journal of Environmental and Tourism Analyses	ツーリズムにおける持続可能な開発、環境の課題に関する研究	大学 (Bucharest University)	Laura Comanescu (University of Bucharest, ルーマニア)
35	Journal of Environmental Management and Tourism	環境マネジメントとツーリズムに関する研究	学術学会 (Association for Sustainable Education, Research and Science)	Ramona PIRVU (University of Craiova, ルーマニア)
36	Journal Of Heritage Tourism	ヘリテージ・ツーリズムに関する研究	研究者グループ	Dallen J. Timothy (Arizona State University, 米国)
37	Journal Of Hospitality & Tourism Education (前身:Hospitality & Tourism Educator)	ホスピタリティおよびツーリズム分野における教育の論点・見解に関する研究	国際協議会 (International Council on Hotel, Restaurant, and Institutional Education)	Miyoung Jeong (University of Massachusetts, Amherst, 米国) HyunJeong Jenny Kim (Washington State University, 米国) Michael C. Ottenbacher (Heilbronn University, ドイツ)
38	Journal of Hospitality & Tourism Research	ホスピタリティおよびツーリズム分野の理論的發展を高める概念的・実証的研究	国際協議会 (International Council on Hotel, Restaurant, and Institutional Education)	Anna Mattila (Pennsylvania State University, 米国)
39	Journal of Hospitality and Tourism Management (前身:Australian Journal of Hospitality Management)	旅行・ツーリズムマネジメント、レジャー・レクリエーション研究、イベントマネジメントに関する研究	大学協議会 (Council for Australasian University Tourism and Hospitality Education Inc., オーストラリア)	B. Richie (University of Queensland, オーストラリア)
40	Journal of Hospitality and Tourism Technology	ツーリズムおよびホスピタリティ分野における科学技術とEビジネスに関する研究	研究者グループ	Cihan Cobanoglu (University of South Florida, 米国)
41	Journal of Hospitality, Leisure, Sport and Tourism Education	ホスピタリティ、レジャー、スポーツ、ツーリズム、イベントにおける高等教育に関する研究	学術学会 (Hospitality, Leisure, Sport & Tourism Network, 英国)	J. Tribe (University of Surrey, 英国)
42	Journal Of Human Resources In Hospitality & Tourism	ホスピタリティおよびツーリズム産業における人材に関する研究	研究者グループ	Howard Adler (Purdue University, 米国)
43	Journal of Outdoor Recreation and Tourism	アウトドア・レクリエーションの計画とマネジメント、自然に親しむツーリズム、パーク・マネジメントに関する研究	研究者グループ	W. Haider (Simon Fraser University, カナダ) U. Pröbstl (Universität für Bodenkultur, オーストリア)
44	Journal Of Policy Research In Tourism, Leisure And Events	ツーリズム、レジャー、イベント分野における政策論議に関する研究	研究者グループ	Rhodri Thomas (Leeds Metropolitan University, 英国)

注: [収録資料/データベース]の番号は、本文中の[1・2]国際学術誌の選定に用いた資料・データベースと対応。
①先行研究、②Hospitality & Tourism Index、③図書館の蔵書データベース、④学術書出版社

発行地	発行者	発行期間	発行頻度(回/年)	資料/データベース	URL	No.
英国	Taylor & Francis	2000～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wqah20/current#.Ux9zsdwXou4	45
英国	Taylor & Francis	2006～現在 (前身在1993～2005)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rjto20/current#.Ux92-NwXou4	46
英国	Taylor & Francis	1993～現在	8回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rsus20/current#.Ux_YrtwXou4	47
英国	Taylor & Francis	2001～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wttt20/current#.Ux_mG9wXou4	48
英国	Taylor & Francis	2003～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rtcc20/current#.Ux_v39wXou4	49
ルーマニア	Romanian-American Association of Project Managers for Education and Research	2008～現在	2回	①②③	http://journaltct.ro	50
英国	University of Plymouth Press	2009～現在	2回	③	http://www.tourismconsumption.org	51
英国/米国	Taylor & Francis / International Commission for the History of Travel and Tourism	2009～現在	3回	③④	http://www.tandfonline.com/toc/rjth20/current#.Ux_9wXou4	52
オランダ	Elsevier Science / Transport Geography Research Group of the Royal Geographical Society	1993～現在	2013年から8回 (それ以前は4～6回)	②③④	http://www.journals.elsevier.com/journal-of-transport-geography/	53
英国	Taylor & Francis	1992～現在	8回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/wttm20/current#.UyASCtwXou4	54
英国	John Wiley & Sons	1994～現在	2001年から6回 (それ以前は4回)	①②③④	http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1708-8305	55
米国	Sage Publications	1968～現在	4回	①②③④	http://jtr.sagepub.com	56
米国	Journal of Unconventional Parks, Tourism & Recreation Research	2008～現在	1回	①②③	http://journals.radford.edu/index.php/JUPTRR/	57
米国	Sage Publications	1994～現在	4回	①②③④	http://jvm.sagepub.com	58
米国	Berghahn Books	2000～現在	2回	①③④	http://journals.berghahnbooks.com/jy/	59
英国	Taylor & Francis	1977～現在	5回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/ulsc20/current#.UyCaaNwXou4	60
英国	Taylor & Francis / Leisure Studies Association	1982～現在	6回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rlst20/current#.UyCf8dwXou4	61
英国	Taylor & Francis	1995～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rmle20/current#.UyCnPtwXou4	62
英国	Taylor & Francis	2006～現在	4回	③④	http://www.tandfonline.com/toc/rmob20/current#.UyCqI9wXou4	63
英国	Taylor & Francis	2001～現在	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/sjht20/current#.UyCwdNwXou4	64

No.	学術誌名	取り扱う研究分野「Aims」「Scope」から一部抜粋	編集体制	編集長(もしくはそれに準ずる者)
45	Journal Of Quality Assurance In Hospitality & Tourism	ホスピタリティおよびツーリズム分野におけるサービス品質に関する研究	研究者グループ	Hailin Qu (Oklahoma State University, 米国)
46	Journal Of Sport & Tourism (前身: Journal Of Sport Tourism)	スポーツとツーリズムの関係に関するあらゆる研究	研究者グループ(設立~2005年まではSports Tourism International Council ※実務家と研究者の両者を対象にしていたが、2005年から後者に対象を絞った)	Mike Weed (Canterbury Christ Church University, 英国)
47	Journal Of Sustainable Tourism	ツーリズムと持続可能な開発の関係性の理解に資する研究	研究者グループ	Bill Bramwell (Sheffield Hallam University, 英国) Bernard Lane (Leeds Metropolitan University, 英国)
48	Journal Of Teaching In Travel & Tourism	旅行およびツーリズムの教育に関する研究	国際機関 (International Society of Travel and Tourism Educators)	Cathy H. C. Hsu (The Hong Kong Polytechnic University, 中国)
49	Journal Of Tourism And Cultural Change	旅行・ツーリズムと文化の関係性と可能性に関する研究	研究者グループ	Mike Robinson (University of Birmingham, 英国) Alison Phipps (University of Glasgow, 英国)
50	Journal of Tourism Challenges and Trends	ツーリズム産業における課題と動向に関する理論的・実践的研究	学術学会 (Romanian-American Association of Project Managers for Education and Research)	Mihaela Dinu (Romanian-American University, ルーマニア)
51	Journal of Tourism Consumption and Practice	消費・実行モデルとしてのツーリズムの形態に関する研究	大学 (University of Plymouth)	Kevin Meethan (University of Plymouth, 英国) Hazel Andrews (Liverpool John Moore's University, 英国)
52	Journal Of Tourism History	ツーリズムの歴史に関するあらゆる研究	国際委員会の関連組織 (International Commission for the History of Travel and Tourism)	John K. Walton (University of the Basque Country, スペイン)
53	Journal of Transport Geography	現在の交通地理学に関する研究	学術学会 (Transport Geography Research Group of the Royal Geographical Society)	T. Schwanen (University of Oxford, 英国)
54	Journal Of Travel & Tourism Marketing	旅行・ツーリズムのマーケティングに関する研究	研究者グループ	Kaye Chon (The Hong Kong Polytechnic University, 中国)
55	Journal of Travel Medicine	旅行医学の課題に関する研究	学術学会 (International Society of Travel Medicine)	Eric Caumes (フランス)
56	Journal of Travel Research	旅行・ツーリズムにおける消費者行動、マネジメント、開発に関する研究	学術学会 (Travel and Tourism Research Association)	Richard R. Perdue (Virginia Tech, 米国)
57	Journal of Unconventional Parks, Tourism, and Recreation Research	公園、ツーリズム、レクリエーション分野におけるこれまでの伝統や既存のモデルや型に当てはまらない研究	大学 (Radford University)	Susan R. Van Patten (Radford University, 米国) Mr. Charles W. Cosmato (Radford University, 米国)
58	Journal of Vacation Marketing	ツーリズム、ホスピタリティ、イベント産業におけるデスティネーション、ビジネス、組織のマーケティングに関する研究	研究者グループ	J. S. Perry Hobson (Taylor's University, マレーシア)
59	Journeys: The International Journal of Travel & Travel Writing	旅行文学に関する研究(人類学、文学研究、社会史、宗教研究、人文地理学、カルチュラルスタディーズ等の視点)	研究者グループ	Maria Pia Di Bella (CNRS-IRIS-EHESS, フランス) Brian Yothers (University of Texas at El Paso, 米国)
60	Leisure Sciences: An Interdisciplinary Journal	社会科学の視点から見る、レジャー、レクリエーション、公園、旅行、ツーリズムに関する研究	研究者グループ	Gerard Kyle (Texas A & M University, 米国)
61	Leisure Studies	レジャーに関するさまざまな研究(社会学、心理学、人文地理学、計画、経済等の視点から)	学術学会 (Leisure Studies Association)	Scott Fleming (Cardiff Metropolitan University, 英国) Beccy Watson (Leeds Metropolitan University, 英国) Jayne Caudwell (University of Brighton, 英国)
62	Managing Leisure	レジャー・マネジメントに関する研究	研究者グループ	Leigh Robinson (University of Stirling, 英国)
63	Mobilities	社会文化的活動としてのモビリティ(人、モノ、資源、情報の移動性)に関する研究	研究者グループ ※事務局は大学 (Lancaster University)	Kevin Hannam (Leeds Metropolitan University, 英国) Mimi Sheller (Drexel University, 米国) John Urry (Lancaster University, 英国)
64	Scandinavian Journal Of Hospitality And Tourism	スカンジナビア、北海、バルト地域におけるホスピタリティおよびツーリズム産業に関する研究	学術学会 (Nordic Sociological Association)	Reidar J. Mykletun (University of Stavanger, ノルウェー) Jan Vidar Haukeland (Norwegian School of Hotel Management, ノルウェー) Anette Therkelsen (Aalborg University, デンマーク) Erika Andersson Cederholm (Lund University, スウェーデン)

注: 「収録資料/データベース」の番号は、本文中の「1・2 国際学術誌の選定に用いた資料・データベース」と対応。

①先行研究、②Hospitality & Tourism Index、③図書館の蔵書データベース、④学術書出版社

発行地	発行者	発行期間	発行頻度(回/年)	資料/データベース	URL	No.
英国	Taylor & Francis	1983～現在 (前身在1981～1982)	2011年から16回 (それ以前は4～14回)	②③④	http://www.tandfonline.com/toc/fsij20/current#.UyC0rdwXou4	65
ポーランド	University School of Physical Education	1990～現在	2009年から4回 (それ以前は2年に1回～年3回)	③	http://www.awf.poznan.pl/index.php?id=91&option=com_content&task=view	66
英国	Taylor & Francis	1991～現在	2回	③④	http://www.tandfonline.com/action/journalInformation?show=aimsScope&journalCode=uahfm20#.UyIRU9wXou4	67
オランダ	Stenden University	2010～現在	1～2回	③	http://www.icptr.com	68
クロアチア	Faculty of Tourism and Hospitality Management, University of Rijeka ※Alexandreion Technological Educational Institution of Thessaloniki (ギリシャ)が協力 ※クロアチアの科学教育スポーツ省が支援	1995～現在	2回	②	http://www.fthm.uniri.hr/index.php/thm-current	69
米国	Cognizant Communication	1996～現在	2006年から6回 (それ以前は4回)	①②③④	https://www.cognizantcommunication.com/journal-titles/tourism-analysis	70
米国	Sage Publications	2004～現在	4回	①②③④	http://thr.sagepub.com	71
英国	IP Publishing	1995～現在	2011年から6回 (それ以前は年4回)	①②③④	http://www.ippublishing.com/te.htm	72
英国	Taylor & Francis	1999～現在	5回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rtxg20/current#.UyE1S9wXou4	73
米国	Cognizant Communication	2004～現在	2008年から4回 (それ以前は2回)	①③④	https://www.cognizantcommunication.com/journal-titles/tourism-in-marine-environments	74
オランダ	Elsevier Science	1982 (Vol.3)～現在 (前身在1980～1981)	1993年から6～8回 (それ以前は年4回)	①②③④	http://www.journals.elsevier.com/tourism-management/	75
オランダ	Elsevier Science	2012～現在	2013年から4回 (2012年は年3回)	③④	http://www.journals.elsevier.com/tourism-management-perspectives/	76
英国	Taylor & Francis	2011～現在 (前身在2004～2010)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/loi/rthp20#.UyFBPdwXou4	77
英国	Emerald Group Publishing	1946～現在	4回	①②③④	http://www.emeraldinsight.com/journals.htm?issn=1660-5373	78
米国	Cognizant Communication	2003～現在 (前身在1997～2003)	4回	①②③④	https://www.cognizantcommunication.com/journal-titles/tourism-review-international	79
米国	Cognizant Communication	1998～現在	3回	①②③④	https://www.cognizantcommunication.com/journal-titles/tourism-culture-communication	80
ギリシャ	Interdepartmental Program of Postgraduate Studies in Tourism Planning, Policy & Management of the University of the Aegean	2006～現在	2回	②③	http://www.chios.aegean.gr/tourism/journal.htm	81
米国	Sage Publications	2001～現在	3回	①②③④	http://tou.sagepub.com	82
英国	Taylor & Francis	2000～現在 (前身1958～1972 →1973～1980 →1981～1983 →1984～1999)	4回	①②③④	http://www.tandfonline.com/toc/rwle20/current#.UyFis9wXou4	83

No.	学術誌名	取り扱う研究分野「Aims」「Scope」から一部抜粋	編集体制	編集長(もしくはそれに準ずる者)
65	The Service Industries Journal (前身: Service Industries Review)	サービス産業、サービス業、サービスの効果的マネジメントに関する研究	研究者グループ	Eileen Bridges (Kent State University, 米国)
66	Studies in Physical Culture and Tourism	フィジカルカルチャーに関する研究	大学 (University School of Physical Education)	Wojciech Lipoński (University School of Physical Education, ポーランド) Piotr Krutki (University School of Physical Education, ポーランド)
67	The Journal of Hospitality Financial Management	ホスピタリティおよびツーリズム分野における財務、金融経済、会計に関する研究	学会 (Association of Hospitality Financial Management Educators)	Atul Sheel (University of Massachusetts, 米国)
68	The Journal of Tourism and Peace Research	平和、協力、紛争解決とツーリズムに関する研究	研究者グループ (International Centre for Peace Through Tourism Research)	Omar Moufakkir (La Rochelle Business School of Tourism, フランス)
69	Tourism & Hospitality Management	南東ヨーロッパ諸国のツーリズムおよびホスピタリティ開発に寄与する、ツーリズムおよびホスピタリティに関する研究	大学 (University of Rijeka)	Jože Perić (University of Rijeka, クロアチア)
70	Tourism Analysis	レジャー、レクリエーション、ツーリズム、ホスピタリティ分野における学際的な研究	研究者グループ	Muzaffer Uysal (Pamplin College of Business Virginia Tech, 米国) Geoffrey I. Crouch (School of Business La Trobe University, オーストラリア)
71	Tourism and Hospitality Research	ツーリズムとホスピタリティに関する研究	研究者グループ ※事務局は大学 (University of Brighton)	Marina Novelli (University of Brighton / Bournemouth University, 英国)
72	Tourism Economics: The Business and Finance of Tourism and Recreation	ツーリズムの経済と財務に関するあらゆる研究	研究者グループ	Stephen Wanhill (University of Limerick / Bournemouth University, 英国)
73	Tourism Geographies: An International Journal Of Tourism Space, Place And Environment	地理学の観点から見るツーリズム、レクリエーション、レジャーに関する研究	研究者グループ	Alan A. Lew (Northern Arizona University, 米国)
74	Tourism in Marine Environments	海洋環境のマネジメント課題に関する研究	研究者グループ	Michael Lück (AUT University, ニュージーランド)
75	Tourism Management (前身: International Journal of Tourism Management)	旅行・ツーリズムの計画、政策、マネジメントに関する研究	研究者グループ ※76『Tourism Management Perspectives』とほぼ同じ	Chris Ryan (University of Waikato, ニュージーランド)
76	Tourism Management Perspectives	旅行・ツーリズムの計画、政策、マネジメントに関する学際的な研究	研究者グループ ※75『Tourism Management』とほぼ同じ	Chris Ryan (University of Waikato, ニュージーランド)
77	Tourism Planning & Development (前身: Tourism and Hospitality Planning & Development)	ツーリズムの計画と開発に関する研究	研究者グループ	Peter Burns (University of Bedfordshire, 英国) Richard Sharpley (University of Central Lancashire, 英国)
78	Tourism Review	多くの学問にまたがるツーリズムの理解に寄与する研究	学会 (International Association of Scientific Experts in Tourism)	Christian Laesser (AIEST, University of St Gallen, スイス)
79	Tourism Review International (前身: Pacific Tourism Review)	ツーリズム研究における重要なテーマに関する研究※各テーマは事務局が設定	研究者グループ	Sue Beeton (La Trobe University, オーストラリア)
80	Tourism, Culture & Communication	文化的アイデンティティに関する研究	大学 (Victoria University)	Brian King (Victoria University, オーストラリア) Anne-Marie Hede (Victoria University, オーストラリア)
81	TOURISMOS: An International Multidisciplinary Refereed Journal of Tourism	ツーリズムおよび旅行、ホスピタリティ、レジャーに関する研究	大学 (University of the Aegean)	Paris Tsartas (University of the Aegean, ギリシャ)
82	Tourist Studies	社会現象としてのツーリズムに関する批判的研究	研究者グループ	Tim Edensor (Manchester Metropolitan University, 英国) Gordon Waitt (University of Wollongong, オーストラリア)
83	World Leisure Journal(前身:IRA Bulletin → WLRA Bulletin → WLRA Journal → World Leisure & Recreation)	レジャーに関する研究	国際協会 (World Leisure Organisation)	Atara Sivan (Hong Kong Baptist University, 中国)

注: [収録資料/データベース]の番号は、本文中の「1・2 国際学術誌の選定に用いた資料・データベース」と対応。

①先行研究、②Hospitality & Tourism Index、③図書館の蔵書データベース、④学術書出版社